



ELSEVIER

論文執筆セミナー

アクセプトされやすい論文とは
～編集者、査読者の視点から～

エルゼビア・ジャパン株式会社
2019年12月

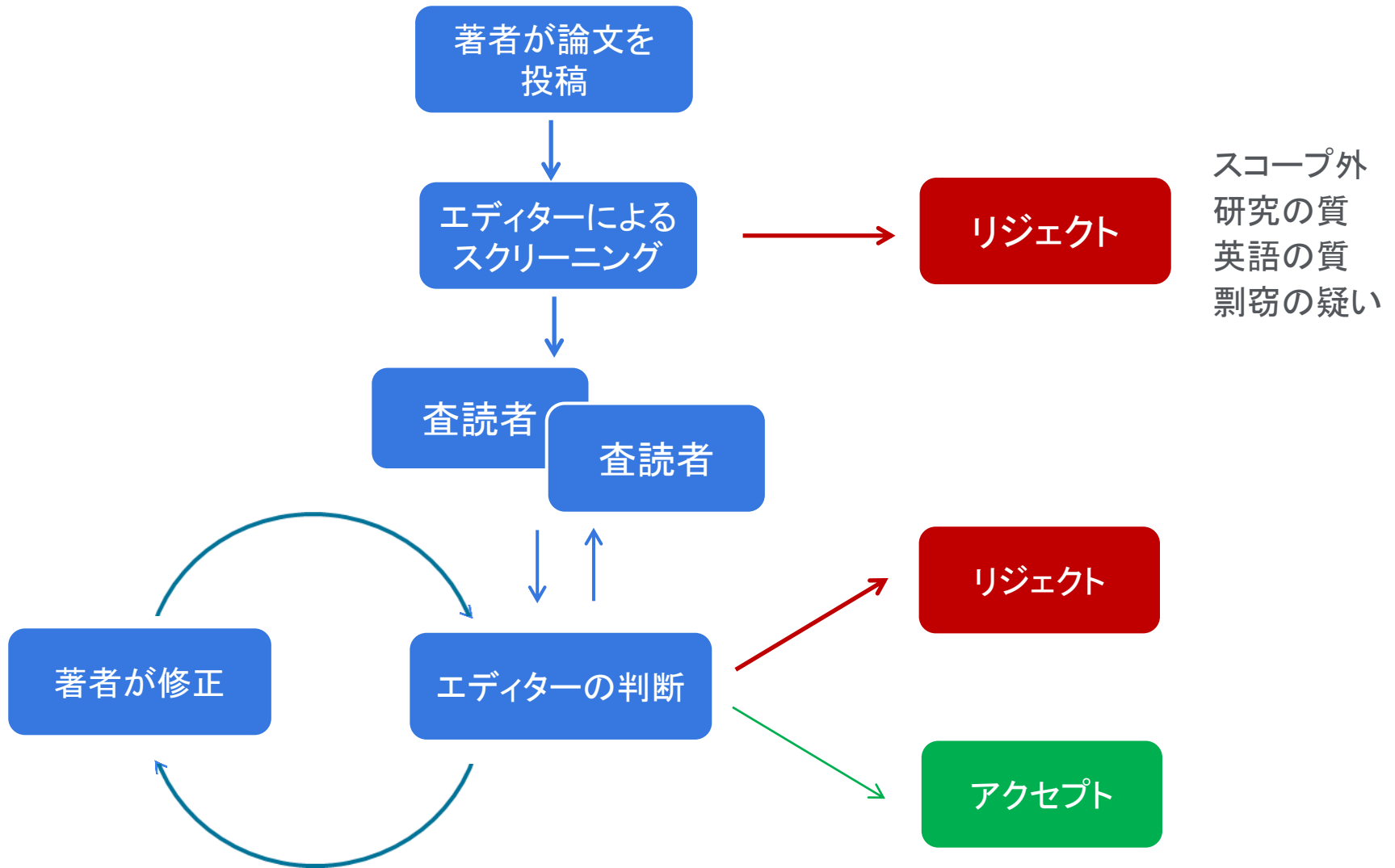


本日の内容

- 論文投稿後のプロセス
- 論文の構造
- 科学英語論文に求められること
 - 先行研究の調査 (Scopusを例に)
- 科学英語
- 適切なジャーナルの選択 (と、ハゲタカジャーナル)
- 出版倫理

論文投稿のプロセス

Review Process



What does a review do?

- 出版前に同じ分野の専門家によってチェックを行うことによって、論文の質を保証するためのシステム
- 科学 (science) を推論 (speculation) や意見 (opinion) から区別する
- 研究の妥当性 (validity)、重要性 (significance)、オリジナリティ (originality) を判断する
- 論文の質を改善する
- 出版すべきかどうかについての推薦
 - accept / minor revision / major revision / reject



Reviewer Checkpoints

- 新規性とオリジナリティがあるか？
- 仮説は重要で明確であるか？
- 序文、方法、データ分析、結果、議論、結論の強さ / 弱さ
- 原稿全体の一貫性
- 文章と図表がわかりやすいか？
- 倫理（動物 / 人間）
- タイトルと抄録は内容を反映しているか？
- 参考文献が正しく引用されているか？

新規性



技術的な品質

論文の構造

論文の一般的な構造

- Title (タイトル)
- Abstract (抄録)
- Keywords (キーワード)

検索されやすさを意識しましょう
(情報豊か、魅力的、効果的)

IMRAD(本文)

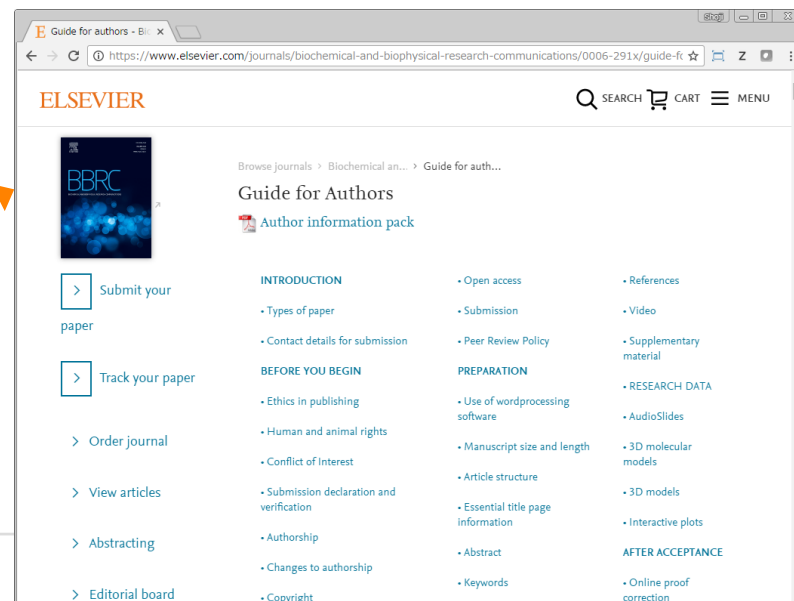
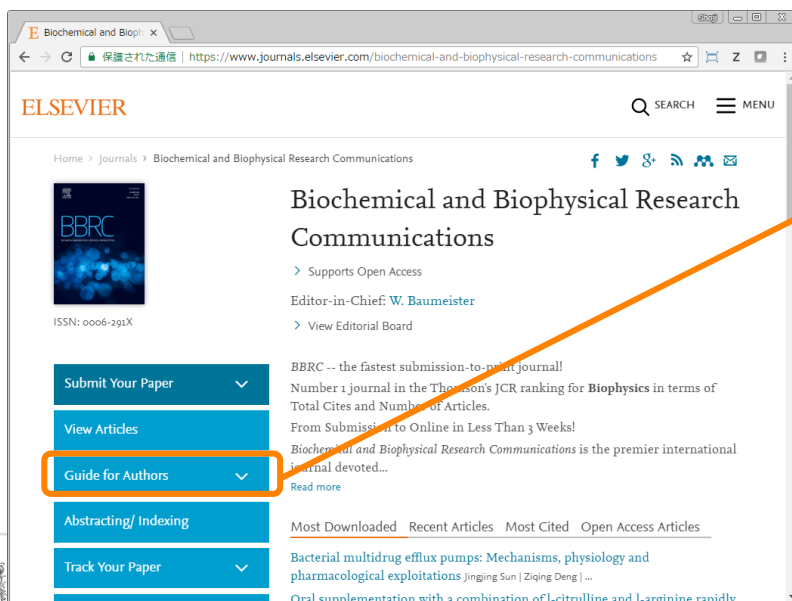
- Introduction (序文)
- Methods (方法)
- Results (結果)
And
- Discussions (考察)

原稿はできる限り簡潔に！
それぞれに明確な役割があります

- Conclusion (結論)
- Acknowledgements (謝辞)
- References (参考文献)
- Supplementary Material (補足資料)

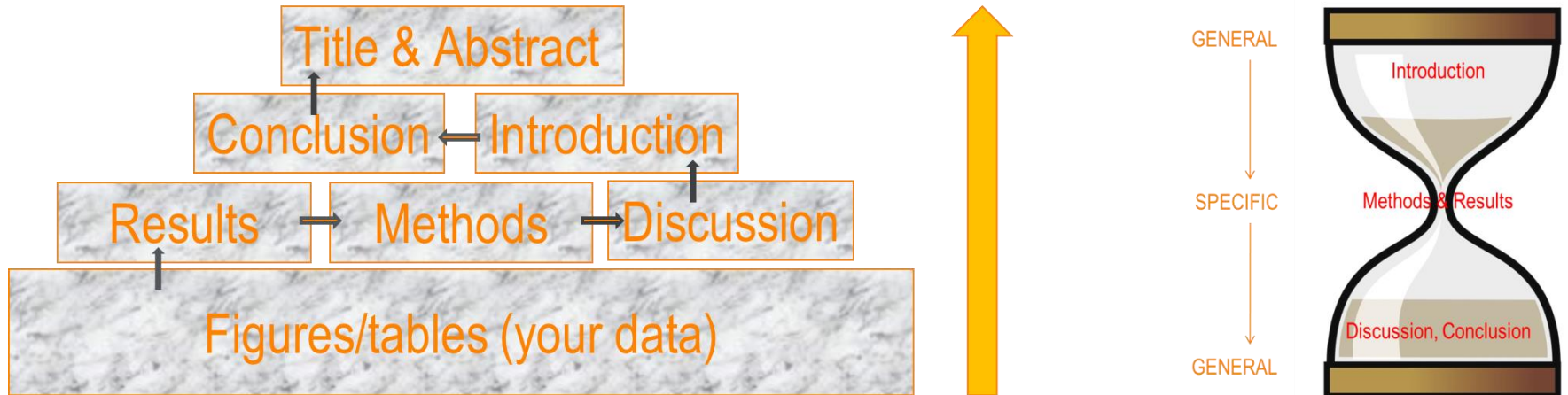
投稿規定を読む

- 投稿規定 (Guide for Authors) は、Elsevier.comの各ジャーナルのホームページに公開されています。
- 初稿の時点から投稿規定に従ってください(テキストのレイアウト、語数、IMRAD、学術用語、図表、参考文献など)。最終的に、そのほうが自分にとってもエディターにとっても時間の節約になります。
- エディターと査読者は、下手な原稿に時間を費やすことを嫌います。



論文を執筆する順番

多くのエディターは以下の順番で論文を書くことを推奨しています



Results (結果)

何を発見したか？

- 考察に不可欠な主な発見
 - すべての発見ではない
 - 方法に記載されている実験の結果
- すでに発表されている論文と異なる発見や予想外の結果を強調する
- 統計的な分析の結果
- 結果以外のこと(考察)は書かない

Results (結果) - Figures

結果を提示する最も効率的な方法

- 最も重要なデータにのみ使用する
- キャプションはそれだけで意味が通じるように詳細に書く
- 本文や他の図表で説明している結果と重複がないように
- 図表をわかりやすくするためのヒント
 - 無駄な色遣いをしない
 - グラフは線が込み合わないように
 - 表は罫線もシンプルに
 - 写真や画像にはスケールマーカを付け、解像度を明確にする

Results (結果) - Figures (1)

Should you use a table or chart?

Figures must be self-explanatory

ECOLOGICAL GROUP					
Station	I	II	III	IV	V
75U	91.3	5.3	3.2	0.2	0.0
75R	89.8	6.1	3.6	0.5	0.0
200R	69.3	14.2	8.6	6.8	1.1
500R	63.0	29.5	3.4	4.2	0.0
1000R	86.7	8.5	4.5	0.2	0.0

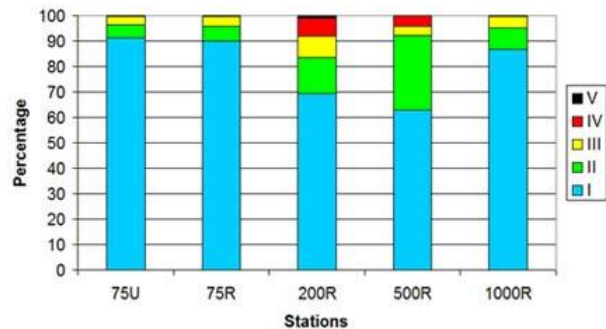


図1 同じデータを表と図で提示した例。目的によって、データは表(数値を強調したい場合)または図(勾配を比較したい場合)のどちらでも提示できる。注: 表には縦の罫線を入れないこと。

Á. Borja et al. / Estuarine, Coastal and Shelf Science 66 (2006) 84–96

87

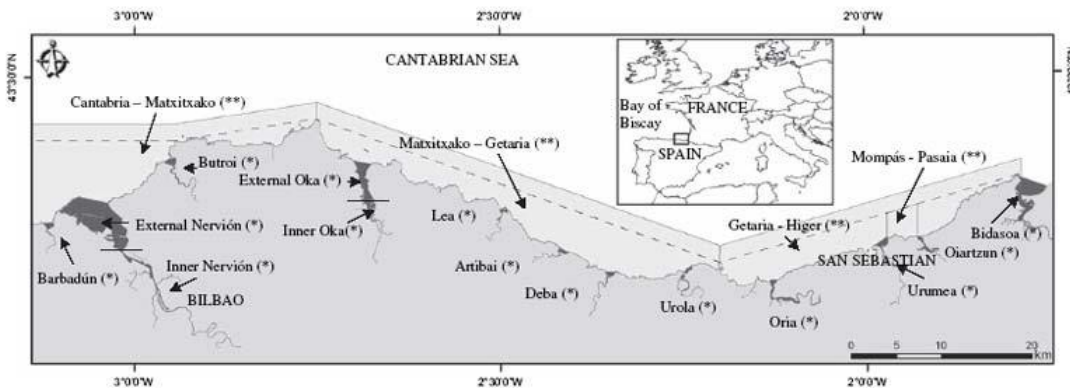


Fig. 1. Location of each of estuarine (*, black colour) and coastal (**, grey colour) water bodies, within the Basque Country. Note: dotted line shows the Basque coastal baseline. Inner and external parts of the Nervión and Oka estuaries are separated by a straight line.

図2 図や表には、略語の完全な表記、本文で言及した場所や座標など、内容を理解するために必要な情報をすべて示す必要がある。

出典: Elsevier Connect記事 Angel Borja, PhD 『11 steps to structuring a science paper editors will take seriously』
<https://www.elsevier.com/connect/11-steps-to-structuring-a-science-paper-editors-will-take-seriously>

Results (結果) - Figures (2)

図3 どのようにデータを提示すべきかを示す例。左の図はプロットの数が多く、データが入り組んでいる。右の図は、データを2つのデータセットに分け、勾配をはっきりと示しているため、考察に有効である。

Don't clutter your charts with too much data

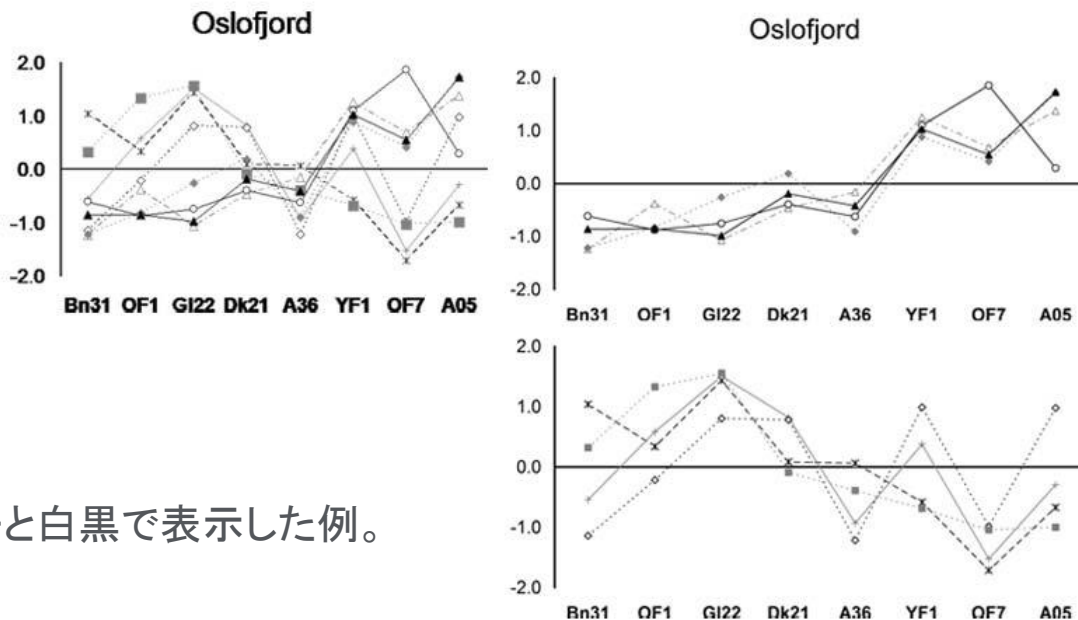
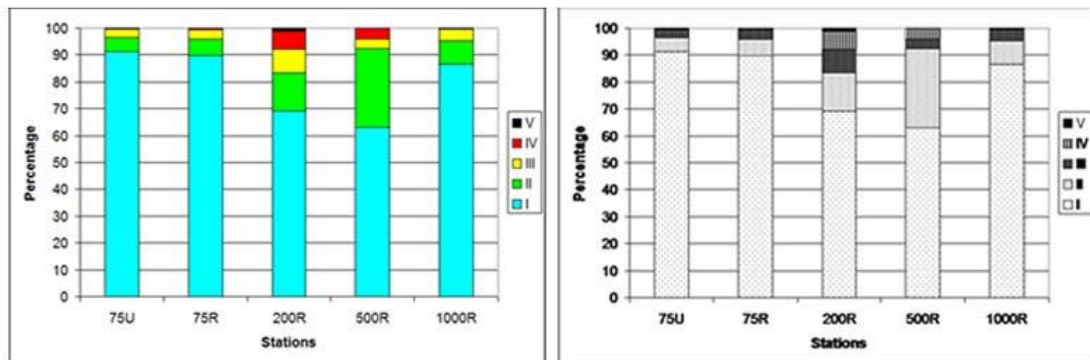


図4 図1で用いたデータセットをカラーと白黒で表示した例。

Using black and white for print can save money



出典: Elsevier Connect記事 Angel Borja, PhD 『11 steps to structuring a science paper editors will take seriously』
<https://www.elsevier.com/connect/11-steps-to-structuring-a-science-paper-editors-will-take-seriously>

Results (結果) — Figures (3)

Use the right kind of chart for your data

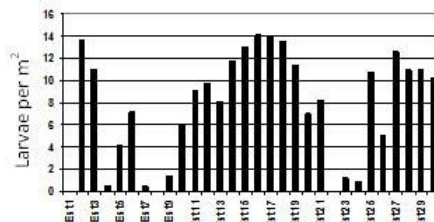
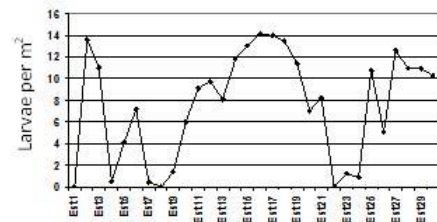
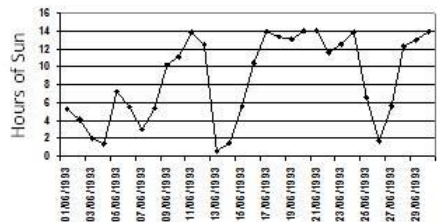


図5 折れ線グラフ(左上は時系列、左下は連続性がある場合)と棒グラフ(右)の例。左下と右の図は同じデータを示している。連続性がある場合は左下の折れ線グラフを、連続性がない場合は右の棒グラフを使用する。

Form should follow function

Depth	Gravel	Sand	Mud
5 m	3,42%	81.41%	15,17%
50 m	2,5%	58.42%	39.08%
100 m	0,0%	32.5%	67.5%

Water depth (m)	Gravel (%)	Sand (%)	Mud (%)
5	3.4	81.4	15.2
50	2.5	58.4	39.1
100	0.0	32.5	67.5

Figures are not eye charts — make them large enough to read

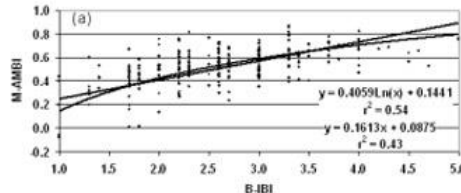
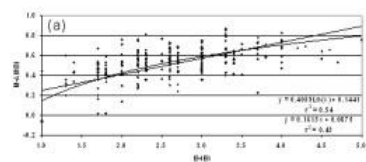


図6 原稿を作成する際に小さなフォントを使用した例。左の図は表の数字が読めない。右の図は文字が大きいので読みやすい。

図7 上の表は、罫線、小数点以下の桁数、小数点(コンマではなくピリオドを使用すること)、単位の位置が不適切。下の表はそれらを適切に使用して見やすくなっている。



Methods (方法)

どのように問題を研究したか？

- 読者が実験を再現できるように詳細な情報を含める
- 過去に発表された手続きの詳細を書く必要はない
 - 参考文献として引用する
 - 補足資料の利用も考慮する
- 使用した装置や材料を明確にする
- 人間や動物での実験の場合
 - 該当の倫理基準に従う必要がある
 - ヘルシンキ宣言の最新バージョン
 - 該当の(学内、国内、国際)動物実験ガイドライン
 - 学内の倫理審査委員会の事前承認を得たことを原稿に明記する

Discussion(考察)

結果が何を意味するのか？

- 単なる結果の説明ではない
- 序文で述べた問題や目的に関連付ける
- 各々の結果に対応させる
- すでに発表されている論文と自分の結果を比較する
 - 違いがあるとすればなぜか？
- 限界があれば説明する
- 結果を繰り返さない

結果で裏付けられる範囲を超えた主張はしない

論文で定義または言及されていない新しい用語やアイデアを持ち込まない

Introduction (序文)

研究の重要性について読者を説得する

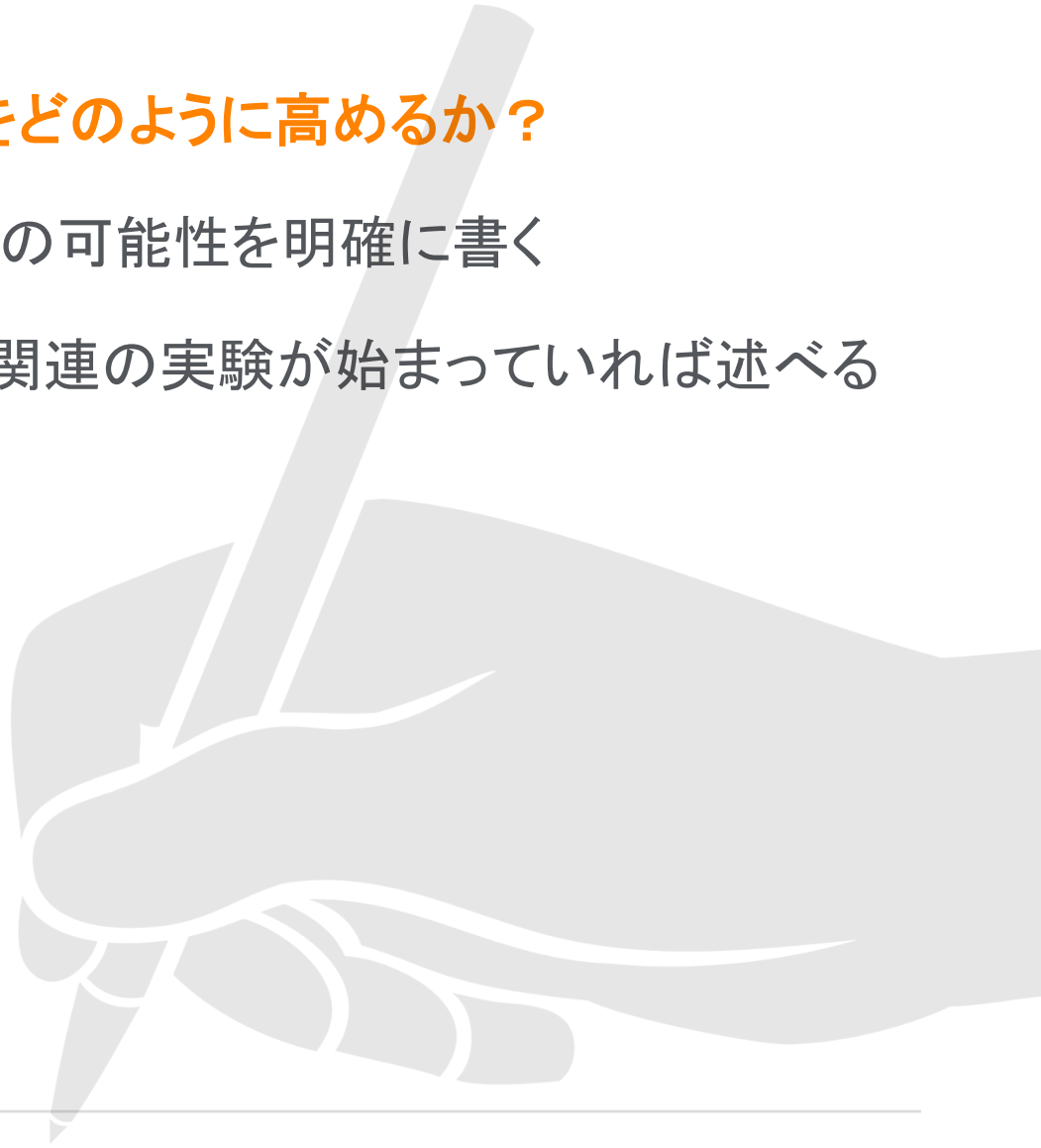
- 研究課題を簡潔に書く
- レビュー論文を含むいくつかの重要な論文を引用
- 以下を明確に記述する
 - 何が問題なのか？
 - 既存の解決策はあるか？
 - どの解決策が最良か？
 - 最大の限界は何か？
 - この研究で何を達成したいのか？

各論文にユニークな序文を書くこと。序文の使い回しはしない

Conclusion (結論)

研究がその分野の知識レベルをどのように高めるか？

- 研究の影響力、正当性、応用の可能性を明確に書く
- 将来の実験を示唆し、すでに関連の実験が始まっていれば述べる
- 論文のサマリーではない
 - サマリーは抄録の役割



Title (タイトル)

読者の注意を引く、効果的なタイトルを心がける

- 論文の内容を適切に表現している
- 問題を特定している
- できるだけ短い
- 特定の人にしかわからないjargonsや略語を含まない

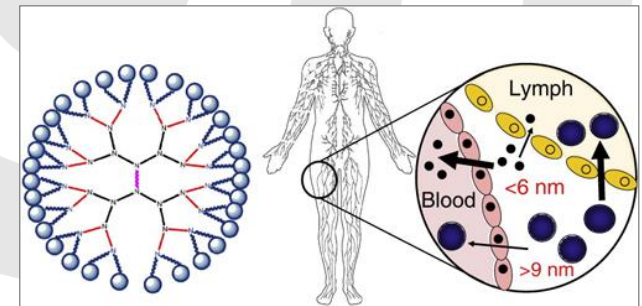
タイトルが適切でないと、ターゲットとする読者に読んでもらえません

オリジナルのタイトル	改定したタイトル	コメント
Preliminary observations on the effect of Zn element on anticorrosion of zinc plating layer	Effect of Zn on anticorrosion of zinc plating layer	長いタイトルは、読者の気を散らします。「～に関する観察」、「～の性質」など、冗長的な言葉は省きましょう
Action of antibiotics on bacteria	Inhibition of growth of mycobacterium tuberculosis by streptomycin	タイトルは具体的であるべきです。「この情報をどうやって検索するだろう？」と自問してください

Abstract (抄録)

論文の宣伝文、抄録・索引サービスに利用

- 単独の読み物として成立し、興味深く、理解しやすいように書く
- 1パラグラフで問題、方法、結果、結論をまとめる
 - Structured Abstract が必要な場合もある
- わかりやすい抄録は、その後、論文が読まれるかどうか大きな影響を与える
- Graphical Abstract も積極的に活用する



最後に書く。本文で書かれていること以外は書かないこと

Keywords (キーワード)

抄録・索引サービスに利用

- 一般的すぎる語、特殊すぎる語は避ける
- 略語は、確立されたもののみ使用可 (例: DNA)
- どのようなキーワードを使用すべきかについては投稿ガイドを確認

候補のキーワードで書誌データベースを検索してみるのも効果的です

論文タイトル	キーワード
"Silo music and silo quake: granular flow-induced vibration"	Silo music, Silo quake, stick-slip flow, resonance, creep, granular discharge
"An experimental study on evacuated tube solar collector using supercritical CO ₂ "	Solar collector; supercritical CO ₂ ; solar energy; solar thermal utilization

References (参考文献)

研究の基礎となった主な文献を挙げる

- 必要以上に多くの参考文献を引用しない
- 参考文献として引用する資料は十分に理解する
- 過度な自己引用は避ける
- 同じ地域の文献を過度に引用することは避ける
- 投稿規定に指定されたスタイルに厳密に従う

Mendeley などの文献管理ツールを使うと便利です

Cover Letter(カバーレター)

エディターに直接意志を伝えるチャンス

- 原稿と一緒に提出、求職の手紙と考える
- 以下のような内容を簡潔に述べる
 - 他の場所で発表されていないオリジナルの研究である
 - 共著者全員の同意が得られている
 - 研究の重要性
 - 原稿を「この」ジャーナルに投稿する理由
 - 査読者の推薦／拒否
 - 利益相反 (Conflict of Interest)

Cover Letter Sample

Professor H. D. Schmidt
School of Science and Engineering
Northeast State University
College Park, MI 10000
USA

January 1, 2008

Dear Professor Schmidt,

Enclosed with this letter you will find an electronic submission of a paper entitled "Mechano-sorptive creep under compressive loading - a micromechanical model" by John Smith and myself. This is an original paper which has not been previously nor simultaneously in whole or in part been submitted anywhere else. Both authors have read and approved the final version submitted.

著者全員からの承認

Mechano-sorptive is sometimes denoted as accelerated creep. It has been experimentally observed that the creep of paper accelerates if it is subjected to a cyclic moisture content. This is of large practical importance for the paper industry. The present manuscript describes a micromechanical model on the fibre network level that is able to capture the experimentally observed behaviour. In particular, the difference between mechano-sorptive creep in tension and compression is analysed. John Smith is a PhD-student who within a year will present his doctoral thesis. The present paper will be a part of that thesis.

Three potential independent reviewers who have excellent expertise in the field of this paper are:

Dr. Fernandez, Tennessee Tech, email1@university.com
Dr. Chen, University of Maine, email2@university.com
Dr. Singh, Colorado School of Mines, email3@university.com

研究の重要性の説明

I would very much appreciate if you would consider the manuscript for publication in the *International Journal of Science*.

査読者の推薦

Sincerely yours,


A. Professor

修正論文の作成

- 採択される前にほとんどの論文は修正を求められる
- エディターと査読者は論文のブラッシュアップを意図している。
感情的にならないこと！
- 「Minor Revision」は必ずしも「Accept」になるとは限らない
- 査読者から指摘された点のみではなく、論文全体を見直して修正論文を書く

査読者への回答書

- 他の研究者との議論の場と捉え、詳細な回答書を準備する
- 査読者からのコメントに対し、1つずつ回答を用意する
- 変更した箇所を明確に記す
- 査読者の意見に同意できない点については反対意見を述べてもよいが、丁寧にしっかりした証拠を提供する



科学英語論文に求められること
- 先行研究の調査（Scopusを例に）

先行研究の調査

■ 重要性

- 関心のある分野で、何が解決済みで何が未解決なのかを把握する
- 解決済みの研究を繰り返すことを避ける
- 新しい研究テーマを見つけるヒントにできる
- 研究テーマが科学の流れの中でどのような位置にあるのかを理解する
- エディターや査読者に、その分野の過去の研究について十分な知識を持っていることを示すことができる

■ 調査方法

- **文献データベース**
- 論文の参考文献
- 最新巻号の確認



**図書館のデータベース
を活用してみましよう。**

Scopusを使った先行研究の調査 (他検索ツールとの比較)

Scopus

Scopus 検索 収録誌一覧 アラート リスト ヘルプ Shoji Takahashi

文献検索結果

4,803 件の検索結果

検索条件: TITLE-ABS-KEY (lps cell)

検索結果の絞り込み

出版年

- 2016 (329)
- 2015 (456)
- 2014 (510)
- 2013 (518)
- 2012 (479)

著者名

- Yamamoto, S. (72)
- Aiba, S. (37)
- Casey, G.O. (30)
- Hochreiter, K. (26)
- Okano, H. (26)

分野

文献タイプ

ジャーナル名

キーワード

著者所属機関

国地域

出版物タイプ

本文連結

論文タイトル	著者	年	分野
Phenolbutic acid improves reprogramming to pluripotency by reducing apoptosis	Jiang, Y., Du, M., Wu, M., Li, L.	2016	Stem Cells and Development
Cardiac and skin cell-occupied hybrid microcapsule: A multi-sectorial design approach	Shenoi, P.C., Embley, K., Chakravarti, P., et al.	2016	Sensors and Actuators, B: Chemical
Human iPSC Cell-Derived Cardiac Tissue Sheets: a Platform for Cardiac Regeneration	Masumoto, H., Yamashita, J.K.	2016	Current Treatment Options in Cardiovascular Medicine
Yield dates (Phorbol dactylifera L.) extract ameliorates isoproterenol-induced cardiomyopathy through downregulation of oxidative, inflammatory and apoptotic molecules in rodent model	Al-Yahya, M., Rashid, M., Abbas, M., et al.	2016	Phytomedicine
Personalized medicine: Cell and gene therapy based on patient-specific iPSC-derived retinal pigment epithelium cells	Li, Y., Chan, L., Nguyen, H.V., et al.	2016	Advances in Experimental Medicine and Biology
Modeling fragile X syndrome using human pluripotent stem cells	Mon-Shaked, H., Lipson, R.	2016	Genes
Systematic optimization of an engineered hyaline-alginate for selective control of human neural stem cell survival and differentiation after transplantation in the stroke brain	Mohamed, P., Noh, I.R., Lorenzo, I.L., et al.	2016	Biomaterials
Lentil-potential tissue specific stem cells and their differentiation potential to corneal epithelial cells	Kathiresan, K.R., Junjanna, U.V.	2016	Methods in Molecular Biology

世界最大級の抄録・引用文献データベース
世界5,000社以上の出版社の23,500誌以上のジャーナル

Google Scholar

プロフィール マイライブラリ ログイン

Google Scholar

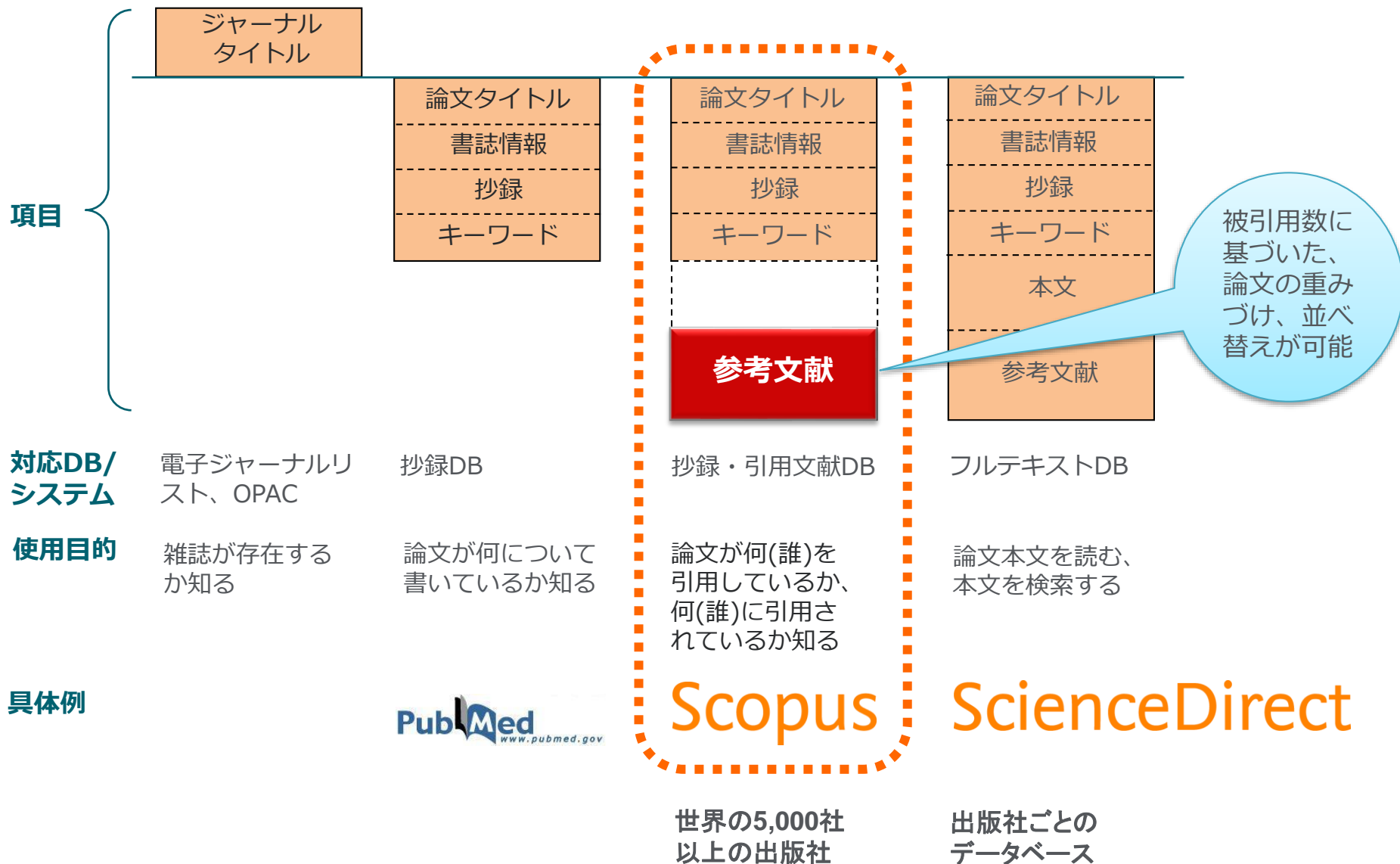
すべての言語 英語と日本語のページ検索

巨人の肩の上立つ

Google Scholar in English

➤ Scopus収録タイトルはオープンな情報。Scopus収録タイトルは査読誌。

Scopusを使った先行研究の調査 (PubMedとの比較)



Scopus

検索 収録誌 アラート リスト ヘルプ

文献検索

検索画面選択

文献検索 著者検索 所属機関検索 [詳細検索](#)

検索語

"Plastic optical fibers"

検索語を入力

> 検索範囲

× 論文タイトル、抄録、キーワード

検索対象項目

検索欄のリセット 検索

- 論文タイトル、抄録、キーワード
- 全項目
- 論文タイトル、抄録、キーワード
- 著者名
- 第一著者名
- 出版物名
- 論文タイトル
- 抄録
- キーワード
- 著者所属機関
- 著者所属機関の名称
- 著者所属機関の市
- 著者所属機関の国
- 本文言語
- ISSN
- CODEN
- DOI
- 参考文献
- 会議名
- 論文タイトル、抄録、キーワード、著者名
- 化合物名
- CAS登録番号

提供:

The Scopus Team

Scopusについて

製品情報

収録コンテンツ

Scopus ブログ

Scopus API

プライバシー尊重

表示言語

Switch to English

切换到简体中文

切换到繁體中文

Русский язык

カスタマーサービス

ヘルプ

お問い合わせ

英語、中国語、ロシア語インターフェースに切り替え
※ ログイン後に切り替えると、設定を記憶

先行研究の調査 - Scopusで検索 (画面はサンプルです)

- 論文・著者・ジャーナルにそれぞれリンクします。
- 基本操作解説動画(日本語) <http://jp.elsevier.com/online-tools/scopus/users>

Scopus

検索 収録誌 アラート リスト ヘルプ SciVal Junya Inoue

3,830 件の検索結果 ヒット数

参考文献由来の情報 13065 件の特許情報 Search your library View 4 Mendeley D

検索式の編集 検索式の保存 アラート設定 RSS設定

検索語を追加して絞り込み

項目を選択して絞り込み

絞り込む 除外する

アクセスタイプ

出版年

著者名

分野

出版段階

文献タイプ

出版物名

キーワード

著者所属機関

助成金提供機関

国/地域

出版物タイプ

本文言語

検索結果の分析

クリックすると論文情報のページへ

クリックすると著者情報のページへ

クリックするとジャーナル情報のページへ

文献タイトル 著者名 出版年 被引用数

<input type="checkbox"/>	1	Two-dimensional displacement optical fiber sensor based on macro-bending effect	Ghaffar, A., Hou, Y.-L., Liu, W.-Y., (...), Yunjun, Z., Nasir, Z.	2019	Optics and Laser Technology 120,105688
<input type="checkbox"/>	2	The effect of using different materials on erbium-doped fiber amplifiers for indoor applications Open Access	Rashed, A.N.Z., Tabbour, M.S.F., El-Meadawy, S., (...), Yupapin, P., Amiri, I.S.	2019	Results in Physics 15,102650
<input type="checkbox"/>	3	Theoretical analysis for exploring the optical performance of solid-core polymer based microstructured optical fibers	Sharma, D.K., Tripathi, S.M.	2019	Physica B: Condensed Matter 572, pp. 279-290
<input type="checkbox"/>	4	Suspended graded-index porous core POF for ultra-flat near-zero dispersion terahertz transmission	Mei, S., Kong, D., Wang, L., (...), Huang, X., Zhang, Y.	2019	Optical Fiber Technology 52,101946

文献情報

< 検索結果一覧に戻る | < 前へ 6 / 3,830 次へ >

CSVにエクスポート ↓ ダウンロード 印刷 E-mail PDFに保存 ☆ リストに保存 その他...>

Full Text Copac BIBSYS X

IEEE Sensors Journal

Volume 19, Issue 20, 15 October 2019, Article number 8341750, Pages 8971-8978

Evanescent Field-Modulated Magnetic Immune Sensor Based on Magnetic Fluid and Polymer Optical Fiber (Article)

Azad, S.^a ✉, Nikzad, A.R.^a ✉, Parvizi, R.^a ✉, Safdari, M.J.^b ✉

^aDepartment of Physics, College of Sciences, Yasouj University, Yasouj, 75914-353, Iran

^bDepartment of Electrical and Computer Engineering, Concordia University, Montreal, QC H3G 1M8, Canada

抄録 (Abstract)

A highly sensitive and simple design of intensity based magnetic field sensor is proposed and experimentally demonstrated with a safe data transformation by employing optical fiber as a magnetic resonance-compatible sensor. The middle section of polymer optical fiber (POF) with 1.5 cm length was tapered with different diameter and roughness. The as-prepared fibers were surrounded with various magnetic fluids (MF). In order to evaluate the MF influence on the sensing performance, experimental comparative behavior studies were performed with incorporating different as-synthesized MF at different volume concentrations of Fe₃O₄ and various materials (Zn_{0.5}Mn_{0.5}Fe₂O₄ and composite: Zn_{0.5}Mn_{0.5}Fe₂O₄-Fe₃O₄). The prepared nanoparticles were characterized by X-ray diffraction pattern, scanning electron microscopy, vibrating sample magnetometer, and atomic force microscopy. Characteristic results confirmed the formation of Fe₃O₄ nanoparticles with height profile less than 10 nm and cubic spinel structure. The refractive index of the MF-coated fiber, acting as a fiber clad, is modulated corresponds to the applied magnetic field and thus, presents an attractive opportunity for magnetic sensing applications. The obtained results revealed that the proposed POF-based sensor with 0.5 mm diameter and average 12 nm surface roughness of POF coated with composite MF exhibited efficient response. The proposed device is capable of detecting magnetic field with linear response of over 99% in the wide range of 2.5-150 mT measurements. © 2001-2012 IEEE.

論文評価指標 ⓘ 全指標を表示 >

1	Scopusの被引用数
1.55	Field-Weighted Citation Impact
PubMx論文評価指標 引用、キャプチャ、言及、ソーシャルメディア、Scopus以外の被引用数	

参考文献を表示 (47)

被引用数 1 回

[Lossy Magnetic Fluid-Encapsulated Optical Fiber Magnetometer: Nickel Substitution Effects](#)
 Rasti, G.H., Avazpour, A., Khordad, R. (2019) *IEEE Sensors Journal*
[この論文を引用している文献を表示](#)

この論文がScopusで引用されたときに通知:

[引用アラート>](#) [引用RSS>](#)



SciVal Topic Prominence ⓘ

Topic: Motion | Motion Perception | MT neurons

Prominenceパーセンタイル: 79.461 ⓘ

この論文がScopusで引用されたときに通知:

[引用アラート>](#)

[引用RSS>](#)

Topic Prominence

研究の注目度を確認できるTopic Prominence

アラート

引用された場合にアラート受信

索引キーワード

EMTREE medical terms: [adult](#) [aged](#) [aging](#) [female](#) [human](#) [male](#) [middle aged](#) [motion](#) [movement perception](#)

[physiology](#) [psychology](#) [spatial orientation](#) [very elderly](#) [visual cortex](#) [young adult](#)

MeSH:

[Adult](#) [Aged](#) [Aged, 80 and over](#) [Aging](#) [Female](#) [Humans](#) [Male](#) [Middle Aged](#) [Motion](#)

[Motion Perception](#) [Spatial Navigation](#) [Visual Cortex](#) [Young Adult](#)

関連研究データ ⓘ

関連研究データ
関連するデータを確認

Springer Science and Business Media LLC

Spatial suppression promotes rapid figure-ground segmentation of moving objects

助成金テキスト

This work was supported by a NIH NEI grant R01 EY019295 to D.T and awards NEI P30 EY001319, T32 EY007125 and T32 EY007135-19.

関連文献

関連文献

同じ参考文献・著者・キーワードの文献を確認

ISSN: 20411723

出版物タイプ: Journal

本文言語: English

DOI: 10.1038/s41467-019-10653-8

PubMed ID: 31266956

文献タイプ: Article

出版社: Nature Publishing Group

(2015) *Vision Research*

Suprathreshold contrast summation over area using drifting gratings

McDougall, T.J. , Dickinson, J.E. , Badcock, D.R.

先行研究の調査 - Scopusで最新情報、トレンドを調べる Scopusの検索結果 (内訳表示、グラフ化、フルテキストリンク)

Scopus

[検索](#) [収録誌](#) [アラート](#) [リスト](#) [ヘルプ](#) [SciVal](#) [Junya Inoue](#)

5,275 件の検索結果

[参考文献由来の情報](#) [53856 件の特許情報](#) [Search your library](#) [View 26 Mendeley Data](#)

TITLE-ABS-KEY ("Material strength")

[検索式の編集](#) [検索式の保存](#) [アラート設定](#) [RSS設定](#)

**初期状態では
出版年順(新しい順)**

内訳表示・絞り込み
絞り込む 除外する
アクセスタイプ
出版年
著者名
分野
出版段階
文献タイプ
出版物名
キーワード
著者所属機関

検索結果の分析

[すべての抄録を表示](#) 並び替え: **出版日(新しい順)**

すべて CSVにエクスポート ダウンロード 引用分析 引用している文献 リストに保存

文献タイトル

1 The Influence of the Packing Material Strength of the Paperboard Packages

抄録を表示 **Full Text**

**カスタマイズリンク
(大学で設定)**

3 ... magma source identification

検索結果の分析(グラフ化)

出版年別の文献数

出版年	文献数
1945	0
1952	0
1959	0
1966	0
1973	0
1980	0
1987	0
1994	0
2001	10
2007	1300
2015	900
2022	800

国/地域別の文献数
最大15か国/地域の文献数を比較する

国/地域	文献数
United States	4200
China	2500
United Kingdom	1100
Germany	700
Japan	600
Netherlands	500
Italy	450
Australia	400
France	350
Canada	300

L

科学英語



ELSEVIER

なぜ英語が重要なのか？

- 正しい英語を使用しなければ、エディターや査読者が著者の意図を理解できません
- 不適切な英語は、論文のリジェクトにつながります

Complaint from an editor:

"[This] paper fell well below my threshold. I refuse to spend time trying to understand what the author is trying to say. Besides, I really want to send a message that they can't submit garbage to us and expect us to fix it. My rule of thumb is that if there are more than 6 grammatical errors in the abstract, then I don't waste my time carefully reading the rest."



科学英語 ー 概要

- 科学英語の要件
 - 正確 (Accurate)
 - 簡潔 (Concise)
 - 明確 (Clear)
 - 客観的 (Objective)
- 一般的な間違いに注意
 - 文の構造
 - 時制の間違い
 - 文法の間違い

投稿するジャーナルの投稿規定で言語に関する指定を確認しましょう

科学英語 一文

- 簡潔で短い文を書く
- 1文では1つの情報を述べる 科学英語の平均的な文の長さは12~17語
- 関係する語は近くに置く
- 1文内の語順にも注意(通常「既知の情報」→「未知の情報」の順)
 - **Avoid:** “This ocean basin was warmer during 2012 than any period found in the observational database, based on our analysis of recent ship-based measurements.”
 - **Write:** “Based on our analysis of recent ship-based measurements, this ocean basin was warmer during 2012 than any period found in the observational database.”
- 肯定形で書く
 - **肯定形:** “He usually came late.”
 - **否定形:** “He is not very often on time.”

科学英語 一時制

- 既知の事実、仮説には現在時制：
"The average life of a honey bee is 6 weeks"
(ミツバチの平均寿命は6週間である)
- 実行した実験には過去時制：
"All the honey bees were maintained in an environment with a consistent temperature of 23 degrees centigrade..."
(すべてのミツバチを気温摂氏23度の環境に維持した)
- 実験の結果には過去時制：
"The average life span of bees in our contained environment was 8 weeks..."
(封じ込めた環境におけるハチの平均寿命は8週間だった)

一貫して正しい時制を使用することで、読者が論文を理解しやすくなります

科学英語 — 文法

- 能動態を使用して文を短縮
 - **受動態**: "It has been found that there had been..."
(…であることが発見された)
 - **能動態**: "We found that..."
(我々は…を発見した)
 - **受動態**: "carbon dioxide was consumed by the plant..."
(二酸化炭素は植物によって消費された)
 - **能動態**: "...the plant consumed carbon dioxide."
(植物が二酸化炭素を消費した)
- 省略形を使わない: "it's" "weren't" "hasn't"
- 略語は、論文内で明確に定義されたものだけを使用
 - 最初に現れるときに定義する(抄録と本文でそれぞれ)
 - 抄録での使用を認めないジャーナルもある
 - 一回しか現れない用語は略語を定義しない
- 確立された略語の場合にのみ定義は不要(例: DNA)

科学英語 — その他のヒント(1)

- 冗長な単語やフレーズを使わない
 - due to the fact that → because or since
 - immediately apparent → apparent
 - in the case that → in case
 - and also → and
 - in order to determine → to determine
 - to try and determine → to determine
- However、In addition、Moreover などの副詞は最小限に抑えて、効果的に使う
- わかりきっている冗長的な語句は使いすぎない(例: In this report)
- 一般的でない語やフレーズを再チェック



ScienceDirect等でフレーズ検索することにより、一般的に使用されている表現かどうかをチェックできます(検索語を二重引用符 “ “ で囲む)

科学英語 — その他のヒント(2)

■ 限定がない this を使用しない

- **Avoid:** “We found this to be the most important facet of the ocean's dynamical response.”
- **Write:** “We found this feature of the thermocline to be the most important facet of the ocean's dynamical response.”

■ 多くの前置詞句を続けない

- **Avoid:** “We ran a model simulation of the ocean for research into the evolution of the thermocline.”
- **Write:** “We ran an ocean model simulation to conduct research into thermocline evolution.”

■ 時代の変化で古くなってしまいう表現を避ける

- “high resolution”
- “new result”
- “latest finding”

科学英語 — その他のヒント(3)

■ 主観的な形容詞を避ける

- **Avoid:** “We use a simple model of the ocean's thermocline to describe the dynamical response.”
- **Write:** “We use an idealized model of the ocean's thermocline based on approximating the continuous stratification with two immiscible fluid layers to describe the dynamical response.”

■ 曖昧な副詞を避ける

- **Avoid:** “The ocean model simulation ran quickly and cheaply.”
- **Write:** “The ocean model simulation required 1200 hours using 100 computer processors.”

■ 「信じる」という表現は避ける

- **Avoid:** “We believe this model result to be true.”
- **Write:** “We show through our analysis that this model result is consistent with the empirical evidence.”

適切なジャーナルの選択



適切なジャーナルを選ぶ

ターゲットとする読者に読んでもらえることが重要

- 候補となるいくつかのジャーナルをチェック
 - Aims and Scopeに研究内容が合っているか
 - アクセプトされた論文のタイプ
 - 読者層
 - 現在人気のあるトピック
 - 引用のされやすさ (CiteScore、Impact Factor)
 - 出版までの期間はどれくらいか？
 - Open Access
- 自分の論文の参考文献
- 先生や、先輩、同僚に相談を
- 同時に複数のジャーナルに原稿を投稿しないこと！



ジャーナルホームページ

Aims and Scope

Biochemical and Biophysical Research Communications

ISSN: 0006-291X

Submit Your Paper

View Articles

Guide for Authors

Abstracting/ Indexing

Track Your Paper

Order Journal

Journal Metrics

CiteScore: 2.43

Impact Factor: 2.371

5-Year Impact Factor: 2.392

Source Normalized Impact per Paper (SNIP): 0.668

SCImago Journal Rank (SJR): 1.139

Biochemical and Biophysical Research Communications

Supports Open Access

Editor-in-Chief: W. Baumeister

View Editorial Board

BBRC -- the fastest submission-to-print journal!
Number 1 journal in the Thomson's JCR ranking for **Biophysics** in terms of Total Cites and Number of Articles.
From Submission to Online in Less Than 3 Weeks!
Biochemical and Biophysical Research Communications is the premier international journal devoted...

Most Downloaded Recent Articles Open Access Articles

Bacterial multidrug efflux pumps: Mechanisms, physiology and pharmacological exploitations Jingjing Sun | Ziqiang Deng | ...

Oral supplementation with a combination of l-citrulline and l-arginine rapidly increases plasma l-arginine concentration and enhances NO bioavailability Masahiko Morita | Toshio Hayashi | ...

Human herpesvirus 6 and 7 are biomarkers for fatigue, which distinguish between: physiological fatigue and pathological fatigue Ryo Aoki | Nobuyuki Kobayashi | ...

View All Articles >

Elsevier Publishing Campus
Free online training to help you publish a scientific book or journal article

Announcements

Heliyon Partner Journal
This journal is now partnering with Heliyon, an open access journal from Elsevier publishing quality peer reviewed research across all disciplines. Partner journals provide authors with an easy route to transfer their research to Heliyon.
Learn more at Heliyon.com

ELSEVIER

Biochemical and Biophysical Research Communications

Journal metrics provide extra insight into three aspects of our journals – impact, speed and reach – and help authors select a journal when submitting an article for publication.

ジャーナル評価指標

Impact

Authors choose a particular journal to submit to for a variety of reasons; one of the most important is the quality or impact of the journal. Journal Insights determines impact using several different metrics, all of which are statistically sound, and provide authors with valuable information to support their selection.

CITESCORE

IMPACT FACTOR

5-YEAR IMPACT FACTOR

ARTICLE INFLUENCE & EIGENFACTOR

SNIP

SJR

ACCEPTANCE RATE

出版スピード

Speed

We know how important speed of publication is to authors considering where to publish, especially in fast moving research areas. These speed metrics (if available in Journal Insights for this title) are displayed: - The average number of weeks it takes for an article to be reviewed - The average number of weeks it takes for an article to reach key

REVIEW SPEED

ONLINE ARTICLE PUBLICATION TIME

ONLINE ARTICLE PUBLICATION TIME*

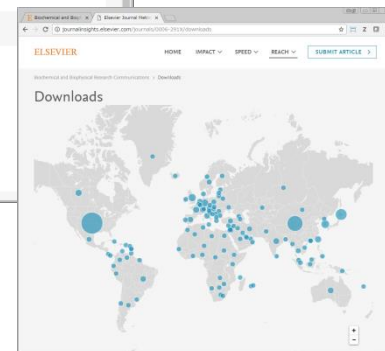
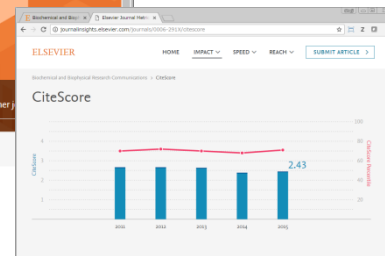
読者/著者の国

Reach

Our journals have global authorship and readership. Journal Insights provides graphics indicating: The number of downloads at the country level over the last five full years available. The number of primary corresponding authors at the country level over the last five full years available.

DOWNLOADS

AUTHORS



ジャーナル評価指標

- CiteScore
- Impact Factor
- SNIP
- SJR

最も読まれた論文
最近の論文
最も引用された論文
オープンアクセス論文

出版までの期間はどれくらいか？

The screenshot shows a ScienceDirect article page. The article title is "The BCR/ABL tyrosine kinase inhibitor, nilotinib, stimulates expression of *IL-1β* in vascular endothelium in association with downregulation of miR-3p". The journal is "Leukemia Research", Volume 58, July 2017, Pages 83–90. The authors are Masumi Sukegawa^a, Xiangmin Wang^{a, b}, Chie Nishioka^c, Bin Pan^{a, b}, Kailin Xu^b, Hiroshi Ohkawara^a, Yoichi Hamasaki^d, Masayuki Mita^e, Kenichi Nakamura^e, Masatoshi Okamoto^f, Hiromi Shimura^g, Masatsugu Ohta^h, and Takayuki Ikezoe^a. The article is a research paper. The publication timeline is highlighted in an orange box: Received 21 November 2016, Revised 3 May 2017, Accepted 5 May 2017, Available online 5 May 2017. The Elsevier logo is visible in the bottom left corner.

ScienceDirect Journals Books Register Sign in > ?

Download PDF Export Search ScienceDirect Advanced search

Article outline Show full outline

Highlights
Abstract
Keywords

1. Introduction
2. Materials and methods
3. Results
4. Discussion

Authors' contributions
Acknowledgement
Appendix A. Supplementary data
References

Figures and tables
Table 1

Leukemia Research
Volume 58, July 2017, Pages 83–90

Research paper
The BCR/ABL tyrosine kinase inhibitor, nilotinib, stimulates expression of *IL-1β* in vascular endothelium in association with downregulation of miR-3p

Masumi Sukegawa^a, Xiangmin Wang^{a, b}, Chie Nishioka^c, Bin Pan^{a, b}, Kailin Xu^b, Hiroshi Ohkawara^a, Yoichi Hamasaki^d, Masayuki Mita^e, Kenichi Nakamura^e, Masatoshi Okamoto^f, Hiromi Shimura^g, Masatsugu Ohta^h, Takayuki Ikezoe^a

^a Department of Hematology, Fukushima Medical University, Hikarigaoka-1, Fukushima 960-1295, Japan
^b Department of Hematology, The Affiliated Hospital of Xuzhou Medical University, No. 99, West Huaihai Road, 221002 Xuzhou, China
^c Department of Hematology and Respiratory Medicine, Kochi University, Oko-cho, Nankoku, Kochi 780-8505, Japan
^d Department of Hematology, Iwaki Kyoritsu General Hospital, Iwaki, Fukushima 973-8400, Japan
^e Department of Hematology, Shirakawa Kosei General Hospital, Shirakawa, 961-0005 Fukushima, Japan
^f Department of Hematology, YUASA Foundation Jusendo General Hospital, Koriyama, Fukushima 970-0001, Japan
^g Department of Laboratory Medicine, Fukushima Medical University, Hikarigaoka-1, Fukushima 960-1295, Japan
^h Department of Hematology, Fukushima Medical University Aizu Medical Center, Aizuwa, Fukushima 965-8585, Japan

Received 21 November 2016, Revised 3 May 2017, Accepted 5 May 2017, Available online 5 May 2017

CrossMark
[Show less](#)

Feedback

Journal Finder – 論文のタイトルと抄録情報から、エルゼビアで該当するジャーナルを提示します

- <http://journalfinder.elsevier.com/>

The screenshot displays the Elsevier Journal Finder interface. At the top, there is a blue button labeled '< Edit your search'. Below this, there are three filter sections: 'CiteScore' with a histogram and a slider from 0 to 10+, 'Time to 1st decision' with a histogram and a slider from 0 to 52+, and 'Publication type' with two radio buttons: 'OA' (selected) for 'Journals that offer Gold OA' and 'S' for 'Journals with subscription'. A 'More filters' dropdown is visible below these sections. The main content area shows 'Showing 46 journals matching your paper' and a 'Sort by: Best match' dropdown. Two journal entries are visible: 'Data in Brief' (ISSN: 2352-3407) and 'World Patent Information' (ISSN: 0111-9201). A large orange-bordered box is overlaid on the right side of the screenshot, containing a list of metrics.

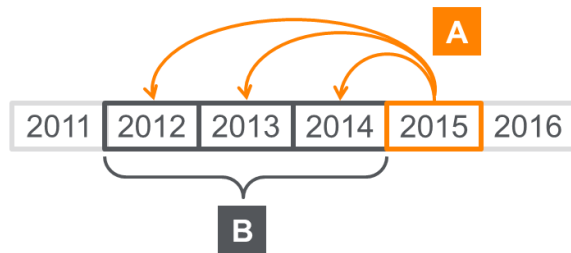
- ジャーナル名
- マッチング率
- インパクトファクター
- Open Accessのオプションと費用
- 最初の回答までの時間
- アクセプトされる率
- アクセプトされてからオンラインで掲載されるまでの時間
- Embargo期間

Revista de Logopedia, Foniatria y Audiologia

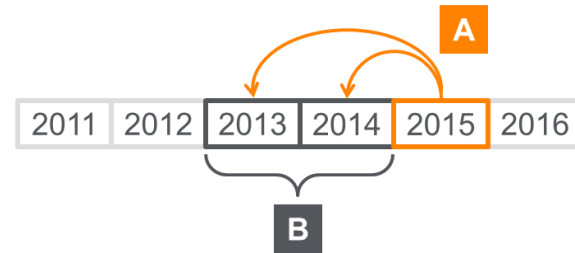
CiteScore, Impact Factor

あるジャーナルに出版された論文が平均して何回引用されたかを示す

	CiteScore (2016年12月リリース)	Impact Factor
開発元	Elsevier	Clarivate Analytics (旧 Thomson Reuters IP & Science)
データ	Scopus	Web of Science
対象期間	3年	2年 / 5年
対象文献	A = B 全文献	A ≠ B A = 全文献 B = Citable Items (Articles & Reviews)



$$\text{CiteScore 2015} = \frac{\text{A } 2012\text{年}\sim 2014\text{年}\text{に}\text{出版}\text{され}\text{た}\text{論}\text{文}\text{が}\text{2015}\text{年}\text{に}\text{引}\text{用}\text{され}\text{た}\text{回}\text{数}}{\text{B } 2012\text{年}\sim 2014\text{年}\text{に}\text{出版}\text{され}\text{た}\text{論}\text{文}\text{数}}$$



$$\text{Impact Factor 2015} = \frac{\text{A } 2013\text{年}\text{と}\text{2014}\text{年}\text{に}\text{出版}\text{され}\text{た}\text{論}\text{文}\text{が}\text{2015}\text{年}\text{に}\text{引}\text{用}\text{され}\text{た}\text{回}\text{数}}{\text{B } 2013\text{年}\text{と}\text{2014}\text{年}\text{に}\text{出版}\text{され}\text{た}\text{論}\text{文}\text{数}}$$

適切な投稿ジャーナルの選択 – 出版のタイプ

- Subscription (購読タイプ)
 - 著者は出版の費用負担なし。
(読者が費用負担)

- Open Access (OA)
 - 著者が出版費用を出版社に支払う。
(読者は無料で購読できる)

- Hybrid
 - 著者がSubscription/OAを選べる。

投稿ジャーナルを探す – ハゲタカ出版への投稿を避ける

ハゲタカ出版とは...

: オープンアクセスのビジネスモデルを悪用し、論文掲載料を不正に集めることを目的としているジャーナル。

: 査読が杜撰で、掲載論文の質は保証されない。

ハゲタカジャーナルを見分けるには？

■ 業界のホワイトリストを確認する

- 出版社がCommittee on Publication Ethics (COPE) に参加している
- オープンアクセス誌の場合、Directory of Open Access Journals (DOAJ) に登録されている

■ 収録基準が明確な定評のある文献データベースに登録されている

- Scopus、Web of Scienceなど

正しいジャーナルを選ぶ

- ターゲットとなる読者を意識的に狙う(日頃から論文を読み込む)
- スーパーバイザーや同僚は、いつでも良いアドバイスをしてくれます
- 自身が読んでいる論文の参考文献リストは、最有力候補になります
- ジャーナルのリストを作って、調査してみる
 - ジャーナルの狙い
 - ジャーナルのスコープ
 - 対象となる論文の種類
 - 読者層
 - ホットトピック
- 投稿できるのは1度に1誌だけです。複数誌に同時に投稿することはできません。

ハゲタカジャーナルへの投稿を防ぐ

- 自己判断するためのプロセスガイド Think. Check. Submit.
<https://thinkchecksubmit.org/>
- 信頼できるデータベースでジャーナル検索を行う
<https://www.scopus.com>
- 信頼できる出版社のサービスを使う
<https://journalfinder.elsevier.com>

以上



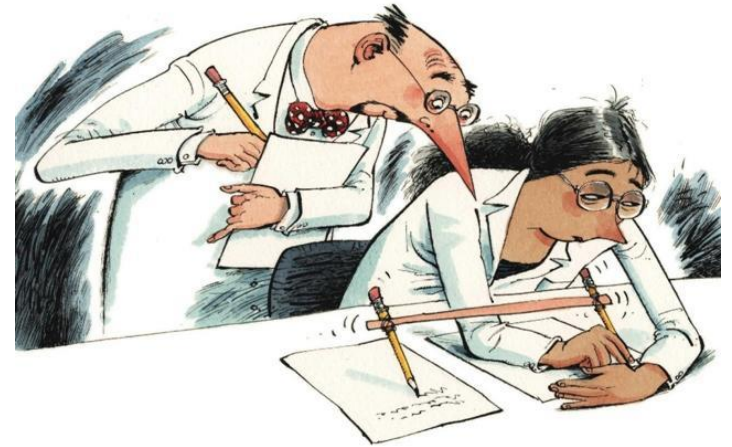
出版倫理



ELSEVIER

出版倫理に関するミスコンダクト

- 研究不正 (Research Fraud)
 - 偽造 (Fabrication)
 - 改ざん (Falsification)
- 剽窃 (Plagiarism)
- 利益相反 (Conflict of Interest)
- オーサーシップ (Authorship)
- 同時投稿 (Simultaneous Submission)
- サラミ法 (Salami Slicing)



M. Errami & H. Garner
A tale of two citations
Nature 451 (2008): 397-399

出版倫理のミスコンダクトがもたらす結果

- 投稿原稿のリジェクト
- Corrigendum ... 悪意のないミス、著者の全面的同意
- Expression of Concern ... 一時的、未確定の証拠
- Retraction ... 論文の撤回
- Removal ... 論文を完全に削除、適用されるのは稀

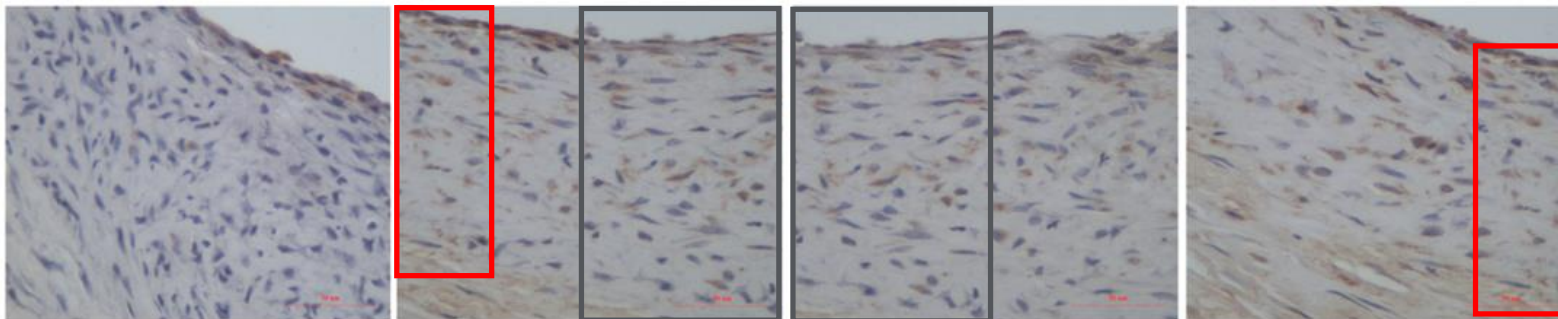
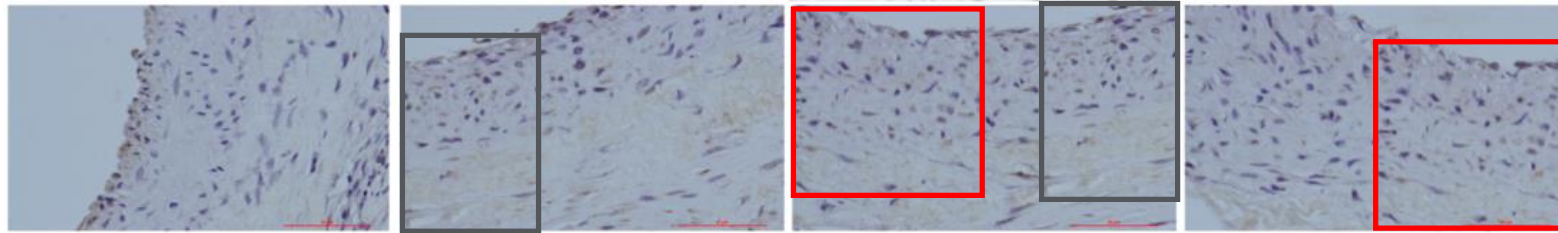
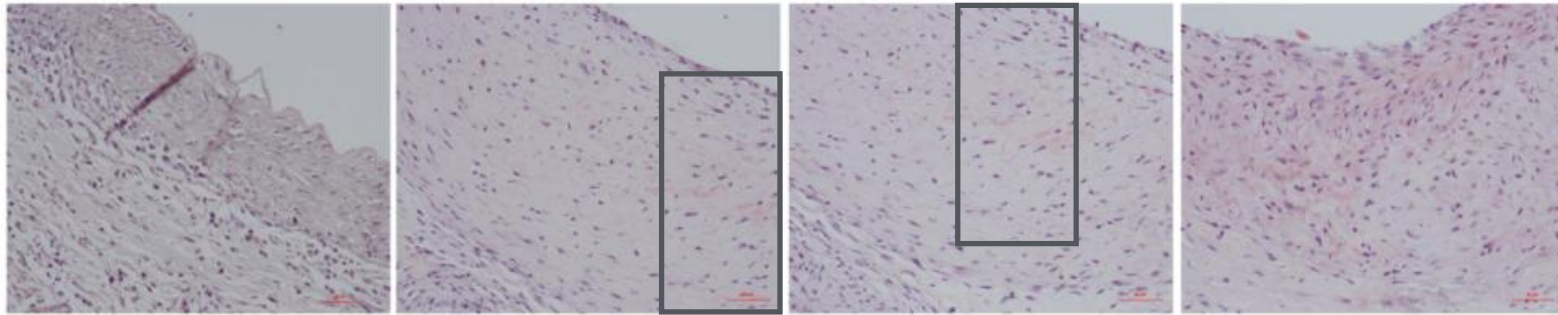
- 著者の所属機関または資金提供団体による何らかの懲戒処分

研究不正 (Research Fraud)

実験や観察に基づいたものではなく、でっち上げや意図的な操作によって作られたデータや結論を基に論文発表を行うこと

- 偽造 (Fabrication) ... 研究データを捏造すること
- 改ざん (Falsification) ... 研究データを意図的に操作すること
 - 研究の資料、装置、プロセスを意図的に操作すること
 - 研究内容が論文に適切に反映されない方法でデータまたは結果を変更したり省略したりすること
 - うまくいかなかったという理由で実験(のデータ)を省略しない
 - 全体のデータセットを反映しない「代表的な」イメージだけを示さない
 - 自分の仮説に合わないデータを握りつぶさない

研究不正の例 — 同じ写真を異なる実験結果に使用



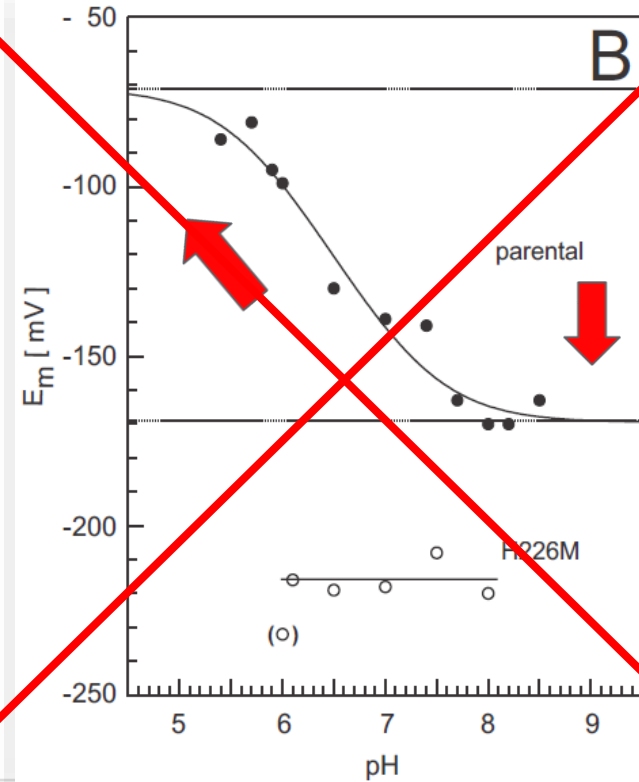
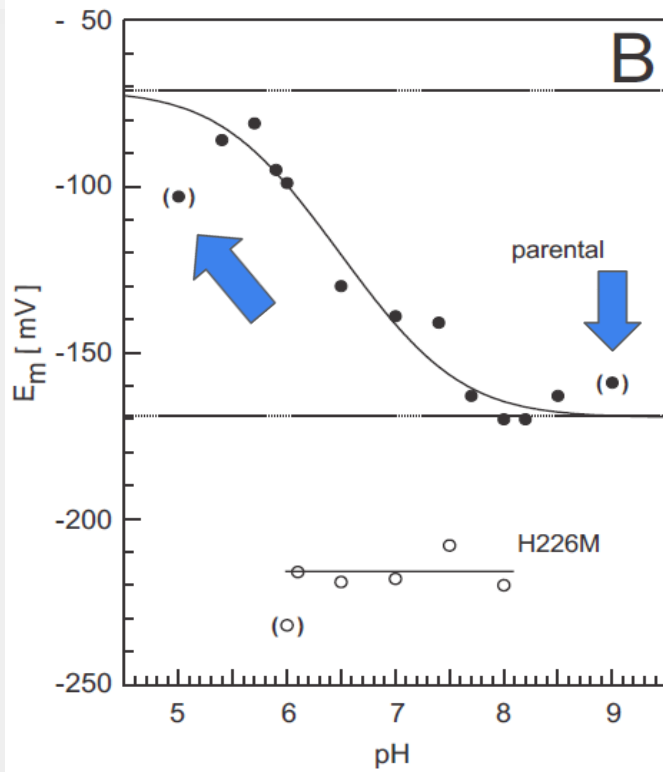
Control

Condition 1

Condition 2

Condition 3

研究不正の例 — 外れ値 (outliers) の処理方法



研究不正 — 画像の操作についてのガイドライン

画像の調整は画像の質を改善する目的でのみ許される

オリジナルの
画像の情報を
不明瞭にし
たり、除去し
ない範囲で



図のキャプションに
明記すること

剽窃 (Plagiarism)

他人の考え、プロセス、結果、言葉をその功績を適切に認めることなく自分のものとする事

■ 様々なものが剽窃の対象になります

- データ
- 図表
- 言葉(言語)
- 考え(アイデア)
- その他のオリジナル作品

■ 正しい引用が鍵

- 他人の論文(自分の指導教官の論文、自分の過去の論文を含む)を正しく引用することは、少なくとも以下の3つの理由によって重要です
 - 自分の論文をコンテキストの中に位置づける
 - 自分の研究の土台となった他人の研究成果を認める
 - 学術文献の信用と正確さを維持する

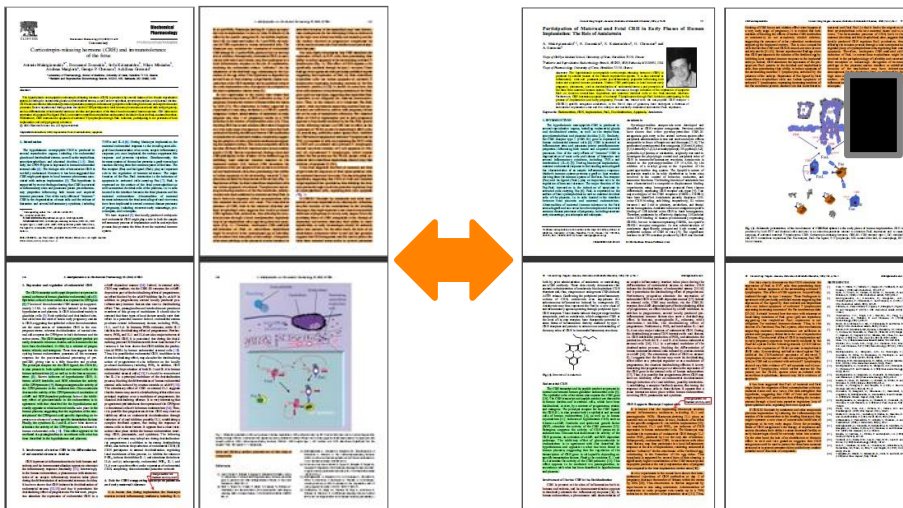
剽窃 — テキストの剽窃

- エディターや査読者もチェック
- 自己剽窃にも注意

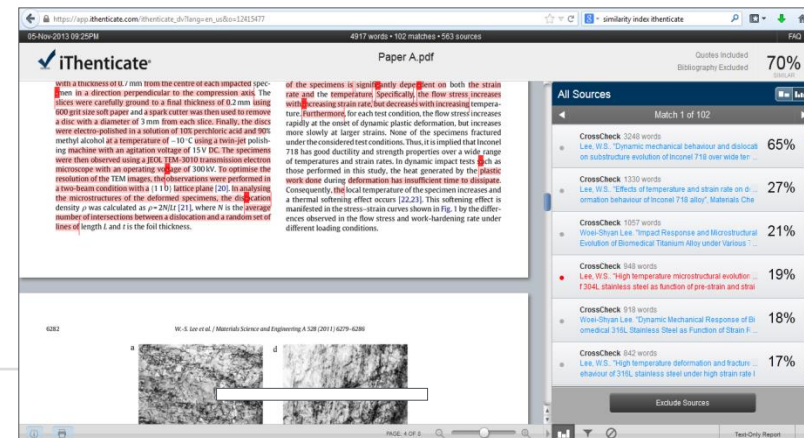
多くの出版社が剽窃検出のために Crossref の Similarity Check を利用しています

2003

2004



Crossref
Similarity Check
Powered by iThenticate



利益相反 (Conflict of Interest)

著者が自身の客観性を損なう、あるいは自身の行動に不適切な影響を与える可能性がある経済的、個人的な利益や信念を持っていること

- 直接的な経済的関係
 - 例: 研究を委託している会社に雇用されている、株式を所有している
- 間接的な経済的関係
 - 例: 研究を委託している会社のコンサルタントを務めている
- キャリア上の相反
 - 例: 自分の学部の教授が編集長を務めるジャーナルに投稿する
- 機関レベルの相反
 - 例: あるテーマについて特定の立場を公に表明している機関に勤務している
- 個人的な信念との相反
 - 例: 伝統治療を実践している医師が新興の医療技術についての論文を書く

潜在的な利益相反に対する適切な対応は、透明性と開示です。

カバーレターで潜在的な利益相反をエディターに説明する必要があります。

オーサーシップ (Authorship) (1)

研究者と発表論文の関係を意図的に偽ることは、論文の内容そのものの信用を傷つける不正行為と見なされます

- 著者であるための条件 (International Committee of Medical Journal Editors による定義)
 - 研究の着想と設計、データの取得、分析、解釈に相応の貢献をしている
 - 原稿の知的内容を執筆するか、批判的に改訂している
 - 出版する最終原稿を承認している
- 著者に関する一般原則
 - 第一著者
 - データの分析、結果の適切な表現と解釈を指揮監督する
 - 原稿をまとめ、ジャーナルに投稿する
 - 共著者
 - データの分析や解釈に知的な貢献をする
 - 原稿をレビューする
 - 結果を提示し、その意味を擁護し、研究の限界を議論できる必要がある

オーサーシップ (Authorship) (2)

■ 避けるべきこと

- ゴースト・オーサーシップ ... 研究に相応の貢献をした人を除外すること
- ギフト・オーサーシップ ... 研究に相応の貢献をしていない人を含めること

■ Acknowledgements (謝辞)

- 研究を手助けしてくれたが著者の資格のない人たちを認める
 - アドバイザー
 - 資金提供者
 - 英文校正者
 - 材料を寄付してくれた業者、など

著者であることは名誉なことですが、責任も伴います。

誰を著者とするか、および著者の順序については、研究計画を作成する前に決めておくべきです。

同時投稿 (Simultaneous Submission)

1つの論文を同時に複数のジャーナルに投稿すること

- 著者には、投稿する論文がオリジナルで未発表の研究であることを確認する義務があります
- 以下のような行為は避けるべきです
 - 本質的に同じ研究を記述する原稿を複数のジャーナルに出版すること
 - すでに発表された論文を他のジャーナルに出版すること
 - 同じ論文を異なる言語のジャーナルに出版すること
 - 異なる言語のジャーナルに出版する場合は、両方のジャーナルの許可と適切な引用が必要です
- 何らかの正当な理由で同じ論文を複数のジャーナルに出版する必要がある場合は、オリジナルの論文を明確に参照する必要があります

サラミ法 (Salami Slicing)

1つの研究を複数の論文に「切り分ける」こと

- 一般に、各「スライス」の仮説、母集団、方法が同じである限り、許容されない行為です
- サラミ法が許容されない理由 (U.S. Office of Research Integrity による説明)
 - 各「スライス」に出版されたデータが異なる被験者から得られたものであると、読者が曲解する可能性がある
 - 科学のデータベースを歪めるだけでなく、反復によって読者、エディター、査読者の時間を無駄にする
 - 著者の被引用数を不当に増やす

最後に



最後に

- 投稿規程は細部まで確認する
- 投稿するジャーナルの最新論文は最高のお手本、たくさんの論文に触れる
- 先輩、出版社、英文校正サービス等を積極的に利用する
- エディターには自分の意見を臆さず伝える
- あきらめない、リジェクトから学ぶことは多い



著者向けページ

- エルゼビア・ジャパン(日本語)
<https://www.elsevier.com/ja-jp/authors>
- 著者向けのオンラインリソース集(英語)
<https://researcheracademy.elsevier.com/>
 - 受講証が発行されます
- リサーチャーサポート
E-mail: support@elsevier.com
Tel: 03-5561-5032

The screenshot shows the Researcher Academy website. At the top, the navigation bar includes 'Researcher Academy', 'Learn', 'Career path', 'Blog', and user icons. The main heading is 'Unlock your research potential', followed by a sub-heading: 'Navigate your research journey with Researcher Academy. Free e-learning modules developed by global experts. Career guidance and advice. Research news on our blog.' A prominent orange button says 'Start learning >'. Below this is a horizontal process flow with five stages: 'RESEARCH PREPARATION', 'WRITING FOR RESEARCH', 'PUBLICATION PROCESS', 'NAVIGATING PEER REVIEW', and 'COMMUNICATING YOUR RESEARCH'. A 'Feedback' button is on the right. The 'Latest' section features three cards: 'JOB SEARCH' (with a 'TOMORROW' badge), 'FINDING THE RIGHT JOURNAL', and 'RESEARCH COLLABORATIONS'.